

ダイエット揚げ物用フライヤーの商品化支援

伊藤アドバイザーによる支援

店長はアイデアマン
アイデアの権利化の相談で来訪されたことから支援が始まった

産業財産権取得に向けたサポート

- 産業財産権制度による権利取得の重要性について説明
- 先行技術調査方法の指導
- 先行技術文献の整理・分類・マップ化についての支援
- 技術情報及び権利情報としての公報の読み方を支援
- 出願から権利取得までの一貫した支援
- 研究開発連携企業、資金助成を受けるためやまなし産業支援機構への紹介

デイリーヤマザキ山梨学院大学前店

現代若者の傾向として脂っこい食品は人気がなく、フライ類の販売額が減少傾向にあった

油槽へのじゃぶ漬けどうしても材料への油の吸収分が多いため限界！

解決のための何かヒントがないかと模索・試行錯誤の結果、「ダイエットフライヤー」を開発
この新商品を権利化したい！

特許情報活用による成果

助成金等を活用し

- 特願2008-188319
- 意匠登録第1287952号

技術開発力のない企業・個人が他と連携することにより、新商品の開発が可能となる
また、経験したことのない要求を連携先企業に反映させることでイノベーションにも寄与

この支援によって開発・販売された商品

商品名「ダイエットフライヤー」

素材を油槽にじゃぶ漬けすることなく、油を軽く素材に塗り、 Gondola が回転することで、中波長赤外線ヒータでこんがり焼けたカロリーオフのフライを提供します。電力、ガス、食用油の大幅な減少により省エネルギーにも大きく寄与する商品です。

支援先企業の概要

- 会社名 デイリーヤマザキ山梨学院大学前店 ■ 代表 佐々木 廣充
- 住所 山梨県甲府市酒折 ■ 設立 2004年

伊藤 哲雄(山梨県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

大学前のコンビニなので、学生など若者の消費動向が手に取るように分かります。店長はアイデアマンで、若者のダイエット志向に沿った食品を提供する装置のアイデアを持っていましたが、技術力がありませんでした。そこで、技術力のある企業と連携することによって新商品を開発することができました。この「ダイエットフライヤー」は店長の深い思いが込められた商品で、全国のコンビニに広めていくつもりです。

店長の熱意は、特許調査から出願、権利取得、その後の知財の活用まで広がり、ますます知財への思いを深めています。今後とも店長の熱意に応えるように地道で実のある支援を続けていきたいと思っています。



平成21年2月現在

